

# 戦争は二度と起こさせない!

## 今年で原爆投下・終戦から 74 年



### 府職の友 本庁ニュース

発行  
大阪府職労  
内線3746

明日15日で74回目の終戦の日を迎えます。先の参議院選挙では、いわゆる改憲勢力が改憲発議に必要な議席数の3分の2を割り込みました。安倍首相は選挙自体は勝利したことで、任期中の憲法改正を目指すとしています。3分の2割れという事実は重く受け止めるべきです。74年間続いてきた、日本が戦争で誰かを傷つけたりされたりしない状態がこれからも続くように、憲法9条への自衛隊「加憲」や緊急事態条項の創設といった憲法改正を許してはいけません。

原爆投下による犠牲者を追悼し、二度と核兵器による犠牲が起きないよう平和を祈念する式典が今年も6日広島・9日長崎で開催されました。広島宣言・長崎宣言は、2017年に国連で国連で採択された「核兵器禁止条約」への署名・批

准を政府に求め、唯一の被爆国として、また平和憲法を掲げる国としてリーダーシップをとるべきだと指摘しました。しかし式典で安倍首相は、核兵器国と非核兵器国の橋渡しに努めるだけでなく述べ、条約への言及を避け被爆地からの声に背を向けています。この背景には、米国の核抑止力による安全保障に固執する日本政府の考え方があります。

その米国では、トランプ政権が「米国第一主義」のもと、今年2月に一方的に中距離核戦力全廃条約（INF条約）の破棄をロシアへ通告しました。1980年代、米ソ間の核軍備拡張競争が激しくなったことで、世界中で反核平和運動が活発になり、全面的な核廃絶を目指すものではありませんでした。中距離核戦力の全廃を米ソが取り交わしたのがINF条約でした。さらには、核体制の見直しとして、通常兵器による攻撃に核兵器で反撃できるように、新たな核兵器の開発を目指すなど、オバマ前政権の核兵器廃絶志向と真

逆の政策を進めようとして  
います。

憲法の問題でも、核兵器  
の問題でも、戦争を二度と  
起こさせない声を、もっと  
大きくしていくことが必要  
だと感じます。(編集部)

### パンチ島田の 異なるもの 味なもの 76

冷や汁 其の二  
に言わせれば「夏は三食  
これでもいい」。クルー  
ストレイン「ななつ星」  
九州」で提供され、「忘  
却のサチコ」で高畑充希  
が食べた。今では全国の  
スーパーなどで「冷や汁  
の素」が簡単に手に入る  
が、やっぱり今夏も「ひ  
やする」を食べに宮崎へ  
行く。

家庭料理に過ぎなかつた冷や汁をメニューに取り入れ、その後全国に広める立役者となったのが「杉の子」。十年程前にこの店で初めて食べてその味を知り、「冷たい味噌汁を御飯にぶっかけただけ」と侮って、毎年宮崎を訪れながらも約三十年に亘って一度も口にしなかつた己の不明を恥じ、以来毎年夏に訪れている。

④宮崎郷土料理各種  
(島田祐輔)

※味の情報  
①杉の子②宮崎県宮崎市  
橋通西二丁目一四③〇  
九八五(二二)五七九八  
地元で生まれ育った女将

公式サイトです。 <http://www.miyazaki-suginoko.net/>

水曜日は  
1-傑ネ-  
自分の健康と家族のために  
定時に帰りましたよ!